

## Ⅲ 教育目標

### 1 教育目標

- (1) 知性を高め、徳性を磨き、情操を豊かにし、不屈の精神と健全な身体をつくる。
- (2) 理想を求め、郷土を愛し、輝かしい未来と伝統を築くために、自らの可能性を信じ、積極的、創造的に学習する態度を養う。
- (3) 国際化・情報化に対応した幅広い教養と見識を身につけさせる。

### 2 教育方針

教育目標を達成するため、自律と自立の両方を表す校訓「じりつ」の精神を基本とし、教師と生徒及び父母との連携を保ち、真の文武両道を実践する「規律」ある校風づくりに努める。

### 3 めざす生徒像

- (1) 高い志と耐性を備えた生徒
- (2) 清らかな心と凜とした態度で未来の夢を語る生徒
- (3) 自分を律することができる生徒
- (4) なにごとにもがむしゃらに取り組むことのできる生徒
- (5) 常に感謝の心を忘れない生徒

### 4 三学科の目標

各学科における目標をとおして、特色と魅力ある学校作りに努めるとともに、生徒個々の適性を把握し、能力の伸長を図りながら進路指導の充実に繋げる。

#### (1) 普通科

- ① 基礎的・基本的事項を修得させ、自ら学ぶ力を育て、専門領域への興味・関心を喚起する。
- ② 特進クラスの導入により、生徒個々の適正を把握し、それに沿った進路の実現を促進する。
- ③ 習熟度別授業等の実施により、生徒の多様化に対応する。

#### (2) 国際人文科

- ① 多様な国際交流の体験を通して、国際感覚を豊かにし、進んで国際社会の進展に寄与する有能な人材を育成する。
- ② 急速に進展するグローバル化に対応できる人材の育成を目標とし、英語コミュニケーション能力を涵養するため、英検受験を奨励し2級以上の取得者を増やす。
- ③ 第2外国語を修得させることにより、英語圏以外の国々における異文化に対する興味・関心を喚起し、視野の広い人材を育成する。

#### (3) 体育科

- ① 体育の専門科目を探究し、より高度な運動技能を修得するとともに、将来、体育・スポーツ界で活躍する指導者の育成を図る。
- ② 近隣の小中学校へ出向き、体育的活動の場面において専門のスキルを生かした交流や出前指導を行うことで、地域貢献を図る。
- ③ 充実した体育・スポーツ活動を通して、各自の適正・能力の伸張を図り、生涯スポーツに親しむ基礎的な知識・技能・態度を育てる。

### 本校の追求する文武両道

- 「文」の目的は知を高めることにあり「武」の目的は精神と肉体を鍛えることにある。
- 武により文は支えられ、文により武は高められる。両道とは一体を意味する。
- 文と武とを一体として育成することにより、人格が磨かれ、高い志が生まれる。
- 本校の文武両道は「文武一体」の実現に向けて、全ての生徒・教職員と保護者によって追求されるものである。その原点は保護者、教職員の師弟同行、率先垂範である。

## 5 学校経営方針

- (1) 校訓「じりつ」の精神の下、高い志をもち、主体的に文武両道を実践することのできる生徒を育成する。
- (2) 生徒の夢実現に向けた早期の進路決定に取り組み、「チーム那覇西」としての組織体制作りを強化する。
- (3) 「生徒の心に火を着ける」プロ意識を持った教師集団を形成する。
- (4) 文武両道の進学校として、基本的な生活習慣の確立を中核に据えた「生きる力」を育む。
- (5) 生徒一人ひとりに光を当てた教育活動を展開する。
- (6) P T Aや同窓会、及び地域との連携を密にし、信頼に応える学校づくりに努める。

## 6 重点努力事項

- (1) 学力向上の推進
  - ① 早朝講座、放課後講座等の充実を図り、「高い志」の育成とキャリア教育の強化に繋げる。
  - ② 部活動と学習指導のけじめある連動により、授業及び練習の集中力を養う。
  - ③ 主体的学習（予習・授業・復習サイクル）を定着させる。
- (2) 希望進路の実現
  - ① 国公立や難関私大等に一般入試でも対応できるように大学入試共通テスト対策を計画的に行い、定着させる。また、推薦入試情報を提供し、多くの受験に挑戦させる。
  - ② 模試・希望講座・小論文指導等の充実を図るとともに、早期進路決定を促進する。
  - ③ 「受験は団体戦」という意識を醸成し、「チーム那覇西」体制を構築する。
- (3) 基本的な生活習慣の確立を中核に据えた「生きる力」の育成
  - ① 登下校時間、授業時間、部活動等の時間厳守を徹底し、秩序ある校風をつくる。
  - ② 教師の率先垂範の下、清掃活動並びに教室の整理整頓を徹底させ、快適な学習環境にする。
  - ③ 態度教育（挨拶、返事、履き物を揃える、立腰、食事のマナー等）を推進する。
  - ④ 那覇西高校の一員としての「pride」を持ち、品位ある身だしなみを徹底する。
  - ⑤ 自他への思いやりのある心を育み、人権教育を推進する。
- (4) 授業力の向上
  - ① 常に授業のあり方をフィードバックしながら、分かる授業（規律がある、平等、楽しい等）を追求する。
  - ② 各教科の到達目標を明確化し、全員が身につけるべき基礎基本の定着に向け指導を徹底する。
  - ③ 教科横断的な公開授業を積極的に推進し、互いに切磋琢磨しながら、授業力の向上を図る。
  - ④ 家庭学習、自主学習を習慣化させる「仕掛け」を授業内容に組み込むよう工夫する。
- (5) 学校の活性化
  - ① 部活動の加入率向上と活性化、生徒一人ひとりの心身の成長並びに県高校総体男女完全優勝による総合優勝を目指す。
  - ② 3学科の相互作用を推進し、各科の特色と活躍を内外に発信する。
  - ③ 学年指導体制（縦横のほうれんそう）の強化に努める。
  - ④ 資格取得を強化し、国際人文科は卒業までに全員英検2級を取得させ、体育科は漢検3級を取得させる。普通科においては、それぞれの検定において準2級取得を目指す。
  - ⑤ 自治活動ができる生徒会を目指し、那覇西高校の一員としての「pride」を持たせる。
  - ⑥ 生徒の主体性や協調性、及び創造性を育む学校行事の充実を図る。
  - ⑦ 学校緑化に努めるとともに図書室の充実を図り情操教育に力を注ぐ。
- (6) 信頼される学校づくり
  - ① 人権意識や規範意識、及び危機管理意識を高め、安全で安心な教育環境を構築する。
  - ② 一人ひとりを大切にする教育相談体制の充実を努め、心身共に健全なる生徒の育成を目指す。
  - ③ P T Aや同窓会との連携に努め、学校支援組織としてのそれぞれの機能強化を図る。
  - ④ 外部人材を積極的に活用した講演会、研修会、講座等を開催する。
  - ⑤ 学校評価等を通して、学校評議員、同窓会、地域社会等の意見、要望等を積極的に活用する。